

黄金色の稲を収穫！1年生稲刈り体験

■10月5日(月)、金田一営農組合代表理事の五日市亮一さんのご指導のもと、1年生が6月の田植え体験に続き、稲刈り体験を行いました。

○当日は秋晴れの下、生徒たちは鎌を手に自分たちで植えた稲を一束ずつ丁寧に刈り取りました。自らの手で収穫する喜びを味わうとともに、米作りに携わる方々の苦労や工夫にも触れ、日本人の主食である米がどのように作られているのかについて理解を深める貴重な体験となりました。

○五日市さんからは、「地名の由来は、黄金の田が一面に広がっているからだ。一束一束、丁寧に刈ることが大切」とのお話があり、生徒たちはその言葉を胸に、真剣な表情で作業に取り組みました。今回収穫したお米は、12月に「カダルテラス金田一」で販売される予定です。自分たちが田植えから稲刈りまで関わったお米が地域の皆様に届けられることで、学びの成果を実感する機会にもなりそうです。

